

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館夜間・祝日開館事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	07	02	55
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	夜間・祝日に図書館を利用したい市民	意図	夜間や祝日も図書館が利用できる環境を整備する。
事業内容	流山市立図書館設置等に関する条例に基づき、平成30年度から中央図書館・森の図書館・木の図書館・南流山分館の4館では午後7時まで夜間開館を実施する。また、祝日開館は全館で午後5時まで実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成16年10月から事業実施となった。夜間開館については、中央・森の図書館及び南流山分館で午後8時まで開館、平成24年度から木の図書館が加わった。なお、平成25年度から試行として、利用者の少ない12月から4月まで開館時間を1時間短縮している。祝日開館は、全館で午後5時まで実施している。試行の結果により、平成29年度に条例の一部改正を行い、平成30年度から実施した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	夜間開館日数	232	233	228	日	↑↑↑	日数が違うため開館日の多い館の日数
②	夜間利用者数	33,119	33,355	29,649	人	→→		
③	夜間貸出数	114,743	115,734	105,272	冊	→→		
④	祝日開館日数	15	15	15	日	→→	日数が違うため開館日の多い館の日数	
⑤	祝日利用者数	16,169	15,927	15,903	人	→→		
⑥	祝日貸出数	58,698	59,370	60,117	冊	↑↑↑		
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 祝日開館については、毎年需要が大きく貸出数が今年度も1.3%増加している。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		13,353,149	13,418,227	11,628,922				
事業費(b)(円)		3,935,899	3,986,827	3,933,462				
うち一般財源		3,935,899	3,986,827	3,933,462				
職員給与費(c)(円)		9,417,250	9,431,400	7,695,460				
人役・職員(人)		0.70	0.70	0.38				
人役・再任用(人)		0.15	0.20	0.40				
人役・臨職(人)		3.00	3.00	3.40				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	一部条例改正したとおり夏休み期間中の月曜日開館、夜間の開館時間を7時までとし南流山分館については、開館時間を10時から9時30分とした。	③取組における課題(Check)	「図書館夜間・祝日開館事業」に要する予算に係る政策経費から経常経費への統合を行う。
②H30に実施した取組(Do)	一部条例改正については、費用対効果を検証した結果の条例改正であったため利用者からの苦情もなく実施できた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	平成32年度予算から一般事務臨時職員賃金を経常経費「図書館奉仕事業」に、光熱水費及び清掃委託料を経常経費「図書館・博物館施設管理事業」に統合して予算計上する。